

ヴォルフガング・ティルマンズの写真表現とそのメッセージ性について

The expression and its message in the photographs of Wolfgang Tillmans

人文科学系／美術史／論文

地域キュレーションコース

中 優太郎

Yutaro Naka

◎はじめに

近年、メディアなど様々な場所で性的少数者(セクシュアルマイノリティ)やジェンダーに関する題材を、芸術表現という形で発信するアーティストが見られる。これらの題材を取り扱う作品が、鑑賞者に対してどのような問題提起を行い、新しい考え方や意識を生み出すのかということを知りたいと考えた。本論文では、同世代の若者やカルチャー、セクシュアルマイノリティに目を向けた写真作品を制作するアーティストの、ヴォルフガング・ティルマンズに焦点を当て、彼の写真作品に見られる表現の特徴について、写真に写るモチーフや背景から考察しつつ、写真に込められたメッセージを読み解いていくことを目的とした。

◎ヴォルフガング・ティルマンズの概要

ヴォルフガング・ティルマンズは1968年レムシャイト(ドイツ)生まれで、現在ベルリンとロンドンを拠点として活動している。ティルマンズの作品の特徴として、身近な友人や街頭の若者のポートレート、性的アイデンティティについて問いかけるテーマなど、彼を取り巻く日常的な光景を、スナップショットやポートレートの形式で捉えた写真が多く見られる。一方で日常的な写真だけではなく、反戦、アンチ・ナチス、戦争などの題材や、HIV治療普及の取り組みに協力した作品など、政治的なメッセージ性が強く現れた作品も制作している。これらのことから、ティルマンズの作品には、個人の私的な部分と、社会的・政治的な影響を受けた部分の二つが混在していると言われる。

また、展示手法では大小さまざまな作品を壁に直接貼り付ける独自のインスタレーションを行っており、ここでは作品同士の質感やモチーフの共通による、作品間の連続的な鑑賞方法を提示している。

◎作品とカタログの分析

本研究では日本で開催された大型の個展である「Your Body is Yours」展(国立国際美術館、2015年)に展示された作品をモチーフごとに分類し、画面、作品のタイトル、年代や撮影地から作品の持つメッセージ性について考察した。

その結果、ティルマンズの作品には「非説明的」「直感的な美しさ」という二点の特徴が確認できた。ティルマンズの作品には解説やキャプションが少なく、鑑賞者に与えられる情報は作品のタイトルと画面の中に写る被写体のみである。そのため、作品の中に断片的に情報を組み込むことによって鑑賞者に社会的・政治的

なメッセージを発信する手法は、非常に「非説明的」であると言える。

また、ティルマンズ自身がデザインを行う本個展のカタログ内での作品の配置、レイアウトを分類し、作品の配置にどのような意図が込められているかを考察した。カタログでは、作品同士の質感やモチーフの共通によって作品同士の相互作用が生まれる配置がなされており、作品に込められたメッセージが強調される。また、日常的な光景にある美しさに焦点を当てた作品と、抽象表現を用いた作品が区別されることなく並べられることによって、鑑賞者が自身の経験を通してどの作品も「直感的な美しさ」を感じられる効果がある。

◎おわりに

ティルマンズの作品は一概に分類や分析を行うことが困難な、一つの題材に捉われない様々な制作を行っていることが確認できた。また、ティルマンズの作品には直接的な表現や具体的な説明が少なく、鑑賞者が自身の経験をもとに作品を見たままに解釈するという特徴がある。つまり、一方的な価値観の押し付けではなく、鑑賞者に解釈が委ねられていると言える。そのため、鑑賞者に解釈が委ねられ、鑑賞者の居住地や人種、ジェンダーなどの要素によって作品の受け取り方が異なるティルマンズの作品をより深く分析するために、展覧会での現地調査や、鑑賞者へのヒアリングなどのさらなる調査が望まれる。

[主要参考文献]

- 1) 植松由佳編『ヴォルフガング・ティルマンズ Your Body is Yours』国立国際美術館、2015
- 2) 松井みどり著『アート:「芸術」が終わった後の「アート」』朝日出版社、2002
- 3) 清水穰著『デジタル写真論 イメージの本性』東京大学出版会、2020
- 4) 笠原美智子著『ジェンダー写真論 1991—2017』里山社、2018

要約

本論文では、性的少数者（セクシュアルマイノリティ）やジェンダーに関する題材を、芸術表現という形で発信するアーティストが見られる中で、写真家のヴォルフガング・ティルマンズに焦点を当て、ティルマンズの写真作品に見られる表現の特徴について、写真に写るものや背景から考察しつつ、写真に込められたメッセージを読み解いていく。

第一章では、先行研究を用いて性的少数者の概要や抵抗運動の歴史、HIV/AIDS が社会にもたらした問題について説明した。

第二章では、ヴォルフガング・ティルマンズの経歴を確認し、ティルマンズの写真作品を「日常を捉えた作品」と「抽象表現を用いた作品」の二つに大きく分類した。それぞれの特徴について先行研究を軸に考察を行った結果、「日常を捉えた作品」は、私たちが自然だと思っている日常の光景が、実は政治的な影響を受け、管理、調整された非自然であると表現している点と、「抽象表現を用いた作品」は、配色やレイアウト、質感に視点を向けたものであるという点を明らかにした。また、ティルマンズの特徴的なインスタレーションである大小さまざまな作品を壁に直接貼り付ける手法からは、作品同士の質感やモチーフの共通による、作品間の連続的な鑑賞方法を提示していると考察した。

第三章では、2015年に大阪の国立国際美術館で開催された「Your Body is Yours」展に展示された作品の中から11作品を、人物を被写体とした作品、抽象表現を用いた作品、静物画の表現を用いた作品、その他の作品の4つに分類し、分析を行った。

第四章では、『Your Body is Yours』展のカタログ内での作品のレイアウトの考察を行った。ティルマンズは、インスタレーションだけでなく展覧会のカタログや写真集のデザインも行っている。ここでは、モチーフ・意味の共通、質感・形態の共通、対比の構図の3つに分類し、それぞれのレイアウトの特徴や効果について考察した。その結果、作品同士の質感やモチーフの共通によって作品同士の相互作用が生まれ、作品に込められたメッセージが強調されるという特徴を見出した。

第三章、第四章による分析の結果、ティルマンズの作品の全体的特徴として、「非説明的」「直感的な美しさ」という二つのキーワードがあると考えた。ティルマンズの作品には解説やキャプションが少なく、鑑賞者に与えられる情報は作品のタイトルと画面の中に写る被写体のみであり、写真に写るイメージや場面の詳細な情報は鑑賞者には分からない。作品の中に断片的に情報を組み込むことによって鑑賞者に社会的・政治的なメッセージを発信する手法は非常に「非説明的」であると言える。また、ティルマンズの作品は日常的な光景にある美しさに焦点を当てた作品と、抽象表現を用いた作品が区別されることなく並べられている。これにより、鑑賞者が自身の経験を通してどの作品も「直感的な美しさ」を感じられる効果がある。

第五章では、同じくジェンダーを題材とした作品を制作するアーティストであるロバート・メイプルソープ、フェリックス・ゴンザレス＝トレスを取り上げ、それぞれの特徴や共通点、違いについて比較を行った。これによりティルマンズの作品は、スナップショットやポートレートによって日常的な素材を日常的なままであるように撮影することで個人を捉えつつ、そこに社会的背景や政治問題の要素を散りばめ、社会的、政治的なメッセージを発信するという独自性を持つことが明らかになった。また、作品に対して鑑賞者が自由に考える余地が与えられており、鑑賞者に思考を促すという点も特徴的である。

本論文では、ティルマンズの作品は一概に分類、分析を行うことが困難な、一つの題材に捉われない様々な制作を行っているということが確認できた。ティルマンズの作品は一方的な価値観の押し付けではなく、鑑賞者に解釈が委ねられている点が多い。作品に対する受け取り方が、住んでいる地域や人種、ジェンダーなどの個人の持つ要素によって異なるため、鑑賞者それぞれがどう受け止めたかが重要視されているという特徴が新たに見えてきた。作品に込められたメッセージの伝わり方は鑑賞者に依存しているため、展覧会での現地調査や、鑑賞者へのヒアリングなどのさらなる調査が求められる。